

さいたま辻

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスまはろ さいたま辻		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 6日		~ R8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R8年 2月 24日		~ R8年 3月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に対する支援への理解・質の向上意欲	ミーティング等で誰かひとりの意見だけで終わらず、様々なスタッフ・視点からみて意見提案できる場作り	スタッフ全員が参加できる研修体制を整え、より知識を深めていけたら良い
2	自由時間における一人ひとりに合わせた課題への取り組み	PTによる運動面の課題であったり、指導員と児童が個々によりそっての個別トレーニングを行っている。	児童一人ひとりの困りごとをスタッフ全員が把握することでよりよい関わり・過ごし方を提供できるようになる
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ間の情報共有不足(全員に周知されるまでの時差ができてしまうことがある)	出勤数の少ないスタッフへ伝える機会が多くはなく、伝える側もどこまで伝えたのか把握しきれなくなってしまうことがある	伝えた伝えていないが発生しないように出勤時情報共有ボードを活用しているが、見ていない・見たけど忘れた、が発生しているためそのボードが絶対に目に入るようにしていきたい
2	療育室におけるスペースでの活動制限	広さに限りがあるため、利用数等によってはスペースの確保に難しい部分がある	スペース自体を広げることは難しいが、静と動の活動スペースに区切りをつけ、安全な環境作りをしていきたい。
3	職員数による活動制限	スタッフが手薄になってしまう日は安全面を考え屋外活動が制限されてしまうことがある。	公園など外出はどうしても難しいが、玄関前小スペースなどを活用しながら室内では行えない活動なども考え取り入れていきたい。